

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名		コード	21100 塵芥処理施設運営費	予算科目	会計	款	項	目	所管課	環境課	担当班	クリーンセンター
実施体系		基本施策	21	廃棄物の減量化と資源の有効活用	根拠法令	廃棄物と清掃に関する法律他						
		施策の展開	43	廃棄物の減量化と資源の有効活用	戦略事業	193	ごみの減量化推進事業					
		施策の展開			戦略事業							

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 43 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	市内より発生するごみ(一般廃棄物)をステーション方式により収集し、旭市クリーンセンターへ搬入している。又、直接搬入による受け入れ業務を行っている。このように集められたごみは、クリーンセンター内の焼却施設や資源化施設・粗大ごみ処理施設で処理し、処理後の焼却灰(燃え殻)などは、旭市グリーンパーク(最終処分場)へ埋め立て、最終処分をしている。 これら一般廃棄物(ごみ)の収集・処理・施設の整備を行っている。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
旧旭市、海上町、飯岡町、干潟町の構成により塵芥(ごみ)の共同処理を目的に開始された。 (合併により、新旭市に移管)	施設の老朽化に伴い、故障の発生と維持費の増加がみられる。ごみ処理広域化による新施設の稼働(平成33年度)まで、維持、運転管理等を行なう。	市民からの、ごみの収集や分別についての問い合わせが寄せられている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円
1. 共済費、賃金	44,479	臨時職員(作業員)賃金ほか
2. 需用費	101,608	指定ごみ袋購入ほか
3. 委託料	187,948	廃棄物収集運搬業務委託ほか
4. 工事請負費	110,008	焼却施設改修工事ほか
5. その他	4,982	グリーンパークの土地借上料及び覆土用の山砂購入他
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円
1. 国庫支出金	372	廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金
2. 都道府県支出金		
3. 地方債		
4. その他	261,120	塵芥処理手数料、リサイクル資源売払収入

費目内訳	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
1. 共済費、賃金	千円	38,102	40,588	40,147	44,479	
2. 需用費	千円	108,953	116,415	109,213	101,608	44,597
3. 委託料	千円	167,363	169,800	183,376	187,948	179,984
4. 工事請負費	千円	180,962	189,435	211,617	110,008	10,545
5. その他	千円	6,629	5,566	4,616	4,982	3,321
事業費計(A)	千円	502,009	521,804	548,969	449,025	238,447

財源	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
1. 国庫支出金	千円	330	323	353	372	495
2. 都道府県支出金	千円					
3. 地方債	千円					
4. その他	千円	302,073	294,424	310,044	261,120	166,350
5. 一般財源	千円	199,606	227,057	238,572	187,533	71,602

前年度増減理由 焼却施設修繕等工事費等の減

従事職員数 常時 13 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

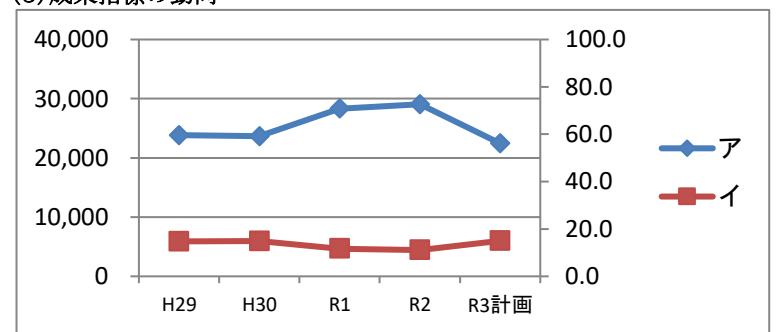
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動)	ア	ごみステーション数	箇所	1,320	1,306	1,311	1,321	1,340
	・ゴミステーション収集業務 ・ごみの受け入れ業務 ・ごみ処理業務								
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	ア	ごみ処理量 (適正処理の指標)	t	23,841	23,663	28,323	29,066	22,457
	対象 市民・市内事業者(一般廃棄物排出事業者) 意図 家庭ごみ等を排出する環境を整え、ごみ処理を適正に処理できる状況とする。								
目的	対象 市民・市内事業者(一般廃棄物排出事業者) 意図 分別収集の徹底や、減量化とリサイクルの推進を図る	イ	再資源化率 (適正処理の指標)	%	14.8	14.9	11.7	11.1	15.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	成果優先度評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
大きい		①	中位 1/3
普通	⑤	②	上位 1/3
小さい		③	
		④⑤	(4)
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況		☐ 完了	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 停滞	☐ 実施困難
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	数値増=成果向上	数値増=成果向上
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	数値増=成果向上	数値増=成果向上
	③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	拡大 ☒ 縮小	現状維持 ☐ 廃止・休止
		4月以降	令和3年4月からのごみ処理広域化に伴い変更となったごみの分け方や出し方の徹底及び旧指定ごみ袋の使用方法等について周知を図る。	令和3年4月	見直し ☐ その他()	

クリーンセンターは、令和2年度で業務は終了し、令和3年度からは組合が管理運営する旭中継施設へ移行する。3年度はごみステーションの収集業務とグリーンパークの管理・運営となる